

清友

No. 91

2017年3月



カタクリの花

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

4月25日にお花見ウォーク

定期総会は6月6日

2月17日に第4回幹事会と専門部会を開き、①第10回定期総会の日程、②お花見ウォーク実施案、③今年度旅行会の考え方、④10周年記念事業実施方法などを検討しました。

第10回定期総会

6月6日に開催します。総会議案は、①活動方針、

②会計予算、③旅費支給基準改正、④10周年記念事業実施案を予定しています。

旅費支給基準改正は、朝令暮改的ですが、行動参加者の意見等を踏まえて見直しします。18年4月に再建10年を迎えます。記念事業実施案を提案する予定です。議案は、5月の幹事会に提案します。参加の案内は4月初めに送ります。例年同様、総会終了後、懇親会をもちます。

お花見ウォーク

今年のお花見ウォークは、「憧れの旧古河庭園洋館と

ツツジの名園めぐり」です。

旧古河庭園洋館はジョサイア・コンドルが設計した日本を代表する洋館の一つです。

また、旧古河庭園はバラ有名ですが、ツツジもすばらしく、全園ツツジに覆われる六義園とあわせて名園をめぐります。

開催日はツツジが見頃を迎える4月25日、JR「上中里」駅改札前に集合です。ご家族や友人・知人をさそって参加ください。



旧古河庭園「洋館」とツツジ



六義園最高所「藤代峠」より

秋の旅行会検討

秋の旅行会は2年連続で中止しました。参加者が予定人数に達しなかったからです。今年は、旅行会の成立要件を従来の25名から20人に縮小して企画することにしました。

実施時期は10月下旬から11月上旬とし、旅行先は昨年と同じ「大源太と当間高原」にするつもりです。

10周年記念事業検討

記念式に余興とパーティーを行うイメージで検討中です。実施時期は、できれば今年の秋にしたいと考えています。

東京清掃退職者送別会

早速、参加者が退職者会加入届提出

東京清掃主催の退職者送別会が、2月24日、清掃会館ホールで開催されました。

中里副委員長の司会で始まり、桐田委員長によるねぎらいのことに続き、庄司会長が退職者会を代表して退職者会への加入呼びかけの挨拶をし、戸枝事務局長が会の活動内容等を紹介するガイダンスを行いました。

坂本副委員長の音頭で乾杯した後、懇親会に入りました。



会員加入呼びかけ (庄司会長)

ねぎらいのことば (桐田委員長)

盛り上がりつつあったところで、退職者全員から想い出の「ひと言」。今年の退職者は、本部署青年部長経験者が多く、多士済々。青年部の頃の活動と出合いを懐かしんだり、清掃事業の古き良き時代？のエピソードが紹介されたり、それぞれの長い「ひと言」に大笑あり、しんみり耳を傾けたりしました。嬉しいことに、「生涯労働運動」の気概が語られ、早速、参加した完全退職者全員が退職者会加入届を提出しました。今年も力強い仲間を得ることができました。

そして、名残を惜しみつつ、染書記長音頭の一本締めで集いを閉じました。今年も参加者は少なかつたとはいえ、昨年同様ここ数年では最多で、やはり参加者が多いと盛り上がりです。

昭和運輸不当解雇撤回闘争(9)

「和解」が成立し、勝利的解決実現 3月29日に清掃会館で「闘争報告集会」

昭和運輸により13年3月、自治労組合員の宮川巧、芝井竜也、谷古宇智之の3名が不当解雇され、公共清掃労組は、不当解雇撤回へ向けて裁判闘争を開始しました。

一方、会社側は労組に対し損害賠償訴訟、争議者側も損害賠償訴訟を起こし、その後3つの裁判は併合されました。そして、自治労全体の闘いにするため、15年12月に支援共闘会議を結成、同時に、裁判闘争と結合し清掃下請け3千名の継続雇用労供労働者への厚生年金、健康保険、雇用保険の3法適用闘争を展開し、社会的世論を高めました。

しかし、裁判闘争山場の昨年9月、リーダー格の宮川さんがバイク事故で亡くなり、妻子が原告を引継ぎました。この悲しみを乗り越えて闘い、裁判の最終局面で、裁判官から「和解」の申し入れがあり、最終的には「職場復帰」から



昭和運輸不当解雇撤回闘争支援共闘会議結成集会 (2015年12月13日)

「金銭」解決へ切り替えて、1月20日に和解が成立しました。一方、3法適用闘争は、争議当該3名を皮切りに昭和の全労供労働者に適用、厚労省による環境保全協会への清掃業界継続供給労働者の3法加入指導へと成果をあげました。支援共闘会議は、3月29日に清掃会館で「昭和運輸裁判闘争報告集会」を開催します。是非参加ください。(宮本)

格差・貧困にNO!



左より生活の党渡辺浩一郎元衆院議員、
民進党山尾志桜里衆院議員、共産党小
池晃書記局長、社民党福島瑞穂副党首



2月19日、日比谷野外音楽堂で「貧困・格差にNO! みんなが尊重される社会を! 総がかり行動」が開催され、約4千人が集まりました。

集会の主催は「戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会」。集会は、市民生活に貧困

と格差が急激に拡大し、この格差・貧困が世界各地での戦争の火種となっており、「戦争反対! 貧困反対、平和! 平等」という観点から開かれました。

メインスピーカーの本田由紀さん(東大教授)は、「非正規労働者が増え、実質賃金は下がり、資産の一極集中が進んでいる。現行の生活保護や奨学金等の制度は不公平を是正できていない。差別・分断を悪化させてきた元凶は自民党政府だ。」と強調しました。

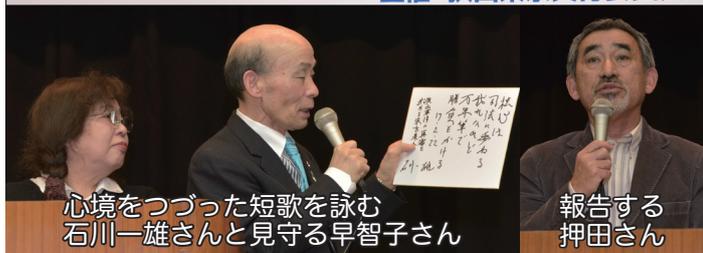
格差・貧困問題を取組む団体は、「実効性のあ

る残業規制や最低賃金引上げにより、格差・貧困を招く働き方を変えることが、戦争をさせないことにつながる」と指摘、奨学金地獄やシングルマザー窮乏の現状が報告されました。

集会後、銀座デモを行い、「貧困・格差にNO!」「誰もが人間らしく生きられる社会を!」と訴えました。

狭山事件の再審を求める東京集会

主催 狭山東京実行委員会



心境をつづった短歌を詠む石川一雄さんと見守る早智子さん

報告する押田さん

国鉄の分割・民営化から30年 国鉄闘争を今後の労働運動の教訓とするための2・17集会



登壇した元国労闘争団・全動労争議団

2月17日、四谷区民センターで「国鉄分割・民営化から30年」2・17集会」が全労協議長、元国鉄共闘会議議長、国労委員長の呼びかけで開催され、400名余が結集しました。

元鉄建公団訴訟主任弁護士の加藤晋介さんが、「国鉄闘争の総括と教訓」という演題で講演。その後、参加した12名の元国労闘争団・全動労争議団が登壇し、決意表明しました。

全労働者の40%が非正規、格差が拡大しています。国家的不当労働行為に抗し闘った国鉄闘争の教訓がどのように活かされているのか、改めて考えさせられた集会でした。

2月22日、田町交通ビルで「狭山事件の再審を求める東京集会」が開かれ、300名を大きく超えて結集。退職者会も9名参加しました。

狭山弁護団青木弁護士は「石川さん宅から発見したとされる万年筆は被害者のものではない。最大の有罪証拠が最大の無罪証拠に転化した。」と、万年筆問題を中心に報告。清掃・人権交流会会長の押田さん(退職者会)などが連帯アピールしました。

依然殺人犯の汚名を着せられたまま、石川さんは78歳になりました。集会参加者は今年こそ無罪を勝ち取ろうと、決意を新たにしました。

東京清掃「当面の課題」

新採獲得・人員闘争強化、人事制度改善、非正規の労働条件改善を課題に

東京清掃染書記長インタビュー

清掃の現場でも非正規化が進み、清掃事業に対する当局の姿勢が問われる事態になっています。厳しい状況にかかわらず、に立ち向うか、当面の課題について染書記長に伺いました。

人員闘争の強化へ向けて

今年、10区で新採をとりました。国の介入による「退職不補充」方針に基づき、区現業の新採が全く止まっている中で頑張っています。区移管以降新採のない区は7区です。ここを何とかしていきたいと思っています。

春闘期に作業計画・人員闘争の総括と課題をテーマに春闘討論集会をもつことにしました。総括をし、各区の状況をお互いに学び、次の運動に活かしていきたいからです。

非正規の労働条件改善へ

安上がり行政の手法として、車に作業員を付けて供給する車付雇上が通年作業計画で使われ、下請労働者の非正規化が急激に進行しています。

実態は常用雇用なのに社会保険非適用の違法が横行しています。自治労、東京清掃、公共清掃が結成した昭和運輸不当解雇撤回闘争支援共闘が社保適用の闘いを進めたことなどにより、厚労省の是正勧告が出されました。社保適用による掛金増分を雇上会社に負担させ、行政にも契約単価増を求める必要があります。東京清掃は、この取り組みを進める絶好の立場にあります。下請非正規の労働条件改善は東京清掃の重要な課題です。



インタビューに答える
東京清掃染書記長

自治労東京も、清掃委託労働者のミニマム賃金確立を求めるキャンペーンを春闘期に展開することになっています。

人事制度改善へ向けて

区長会が行政系人事制度見直しを検討しています。係長職昇任選考を廃止して、業績評価等による一本釣りに変え、給与制度も上に厚く、下に薄いものにしてほしいです。係長のなり手が減っていることを理由にしていますが、背景には、区長等の権限強化、幹部職員の恣意的登用です。

東京清掃は、行政職にくらべて不利な現業人事制度の是正を求めています。行政系人事制度見直しによる影響を分析し、早めに手を打とうと考えており、春闘オルグのメインテーマに据えて取り組みを進めることにしています。

里山歩きと和紙のまち散策

「歩こう会」は2月10日、「里山歩きと和紙のまち」をテーマに秩父の小京都・小川町を歩きました。まずは官ノ倉山登山。345mの里山ながら、鎖場があり、山頂は関東一円を見渡せる大展望。山登りの楽しさが凝縮。登山後、埼玉伝統工芸会館で、ユネスコ無形文化遺産の「細川紙」に代表される紙すき実演や埼玉県内の伝統工芸を見学。当初予定の温泉は、余りの寒さに湯冷めを考慮し中止しましたが、身体を鍛え、心を豊かにできたミニ旅でした。参加者は6名でした。



官ノ倉山山頂にて